

第42回那須塩原市子ども・子育て会議 会議録

- 1 日時 令和8(2026)年3月16日(月)午後6時30分～午後8時8分
- 2 場所 西那須野庁舎301～303会議室
- 3 議題
 - (1) 令和8年度特定教育・保育施設及び特定地域型事業所の利用定員について
 - (2) 令和8年度保育提供体制の確保のための実施計画について
 - (3) 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の利用定員について
- 4 報告事項
 - (1) 令和8年度特定教育・保育施設及び特定地域型事業所の入園申込状況について
 - (2) 前回会議(R7.7.7開催)時の意見及び質問事項への回答
- 5 その他
子育てガイドブックについて
今後のスケジュールについて
- 6 出席者 委員：16名、事務局：13名、計29名
【委員】
君島委員、大谷委員、赤澤委員、廻谷委員、大島委員、森(順)委員、田中委員、
秋間委員、永井委員、磯委員、村上委員、西田委員、八木澤委員、石崎委員、
浅香委員、越沼委員

【事務局】
(子ども未来部)松本部長
(子育て支援課)福田課長、瀧補佐、高野係長、磯主査、平山主査、齋藤主事
(子育て相談課)菊地課長、相馬係長
(保育課)北村課長、田中補佐、鎌田係長、小林主査

発言者	内容(要旨)
事務局	1 開会 第42回那須塩原市子ども・子育て会議を開会する。
事務局	2 あいさつ 子ども未来部長より挨拶
会長	3 議題 (1)令和8年度特定教育・保育施設及び特定地域型事業所の利用定員について
事務局	資料1により説明。
会長	質問・意見等はあるか。
委員	ひかりみどり保育園の定員が増加している理由は何か。

事務局	当該園が立地する西那須野の大山地区は市内で人口が伸びており、開発が進み若年層の流入があるため、第1希望として選択する方が多いため。
会長	(2) 令和8年度保育提供体制の確保のための実施計画について
事務局	資料2により説明。
会長	質問・意見等はあるか。
委員	宿舎借り上げ支援事業の今年度の実績と現状はどうか。
事務局	令和7年度の実績は0件だった。2件の問い合わせはあったが、採用された保育士が家族所有の持ち家に住む方であったため、要件に該当しなかった。
委員	事業者が借り上げたアパート等に市外からの転入者が住む場合のみ対象になるという条件だが、移住者は先に住む家を決めてから就職試験を受けるケースが多く、実態と合っていない。現場の運営側として非常に使いにくい制度であり、改善を要望する。
委員	0～2歳児の保育において、小さい頃の丁寧な経験が成長後に大きく影響し、不登校などにも関連しているのではないかと感じている。質の高い保育ができるよう、保育士のゆとりある人員配置をお願いしたい。
会長	現場から出ている「使い勝手が悪い」という切実な声を、国や県へしっかりと届けてほしい。
会長	(3) 乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)の利用定員について
事務局	資料3、資料3-1、資料3-2により説明。
会長	質問・意見等はあるか。
委員	月10時間の利用上限について、今後この時間は伸びていくのか。一時預かりの現場で孤立し疲れ果てている母親を多数見ているが、月10時間では困っている親子の救済には足りないのではないか。
事務局	月10時間は国の上限基準として決められている。今後の利用ニーズを踏まえて別途事業展開を検討する。
委員	民間の認定こども園でも前向きな園があるため、令和9年度もし民間でも実施できるようになれば早い段階で情報共有してほしい。
委員	受付や面談について、利用前の面談は入園を弾くためのものか。
事務局	アレルギー等の状況を把握し安全に預かるためであり、弾くことが目的ではない。
委員	定員3名とは年間か1日か。

事務局	1ヶ月あたり10時間の上限の中で、その時間帯に同時に預かれる人数が3名ということ。
委員	利用料金の非課税世帯等の減免はどの程度か。
事務局	生活保護世帯は無料。市民税所得割額77,101円未満の世帯については通常1時間300円のところ200円が減免され1時間100円で利用できる。
事務局	資料6（事前提出意見への回答）により、一時保育との目的や制度面の違い等を説明。
委員	既存の一時保育において、リフレッシュ目的だと「早く迎えに来い」と言われるなど、利用者が嫌な思いをする現実がある。新制度では、受け入れ側の職員に「子どもの育ちを応援する」という目的を周知徹底し、利用者が気持ちよく使えるようにしてほしい。また、チラシも親に目的が伝わる表現を工夫してほしい。
委員	居場所支援の経験から、幼少期にやりたいことを我慢し愛情をかけられなかった子どもが、集団生活で不登校に繋がりがやすい。小さな時にしっかり手をかけてあげることが非常に重要である。
委員	学校は学習だけでなく、友達との関わりや社会性を学ぶ場である。不登校対策の観点からも、小さい時からの愛着形成は本当に大事だと考えている。
会長	4 報告事項 (1)令和8年度特定教育・保育施設及び特定地域型事業所の入園申込状況について
事務局	資料4、資料6により説明。
会長	質問・意見等はあるか。
委員	特定の園に希望が集中しているなら、その園の定員だけを増やすなどの対応はできないか。
事務局	面積基準や保育士の配置基準があるため、特定の園の枠を増やすことは難しい。
委員	入園待ち74名のうち、年齢別の割合はどうか。
事務局	0歳児が約60名（約8割）を占めている。
委員	育児休業の延長を視野に入れて、あえて1施設しか選ばない保護者も一定数いるのではないか。
事務局	育休延長目的かどうかの詳細までは把握していないが、1施設のみ希望して保留になる方が一定数いるのは事実である。

会長	0歳児待機60名が全て育休延長目的とは思えない。負担の大きい0歳児の待機を解消するため、小規模保育の活用など具体的な対応策を検討し、少しでも改善するよう努力してほしい。
会長	(2) 前回会議（R7.7.7開催）時の意見及び質問事項への回答
事務局	資料5、資料5別紙1により説明。
会長	質問・意見等はあるか。
会長	おむつのサブスクリプションについて、保護者から要望を受けて提案したが、持ち帰りがないのであればそこまで負担ではないのかもしれない。
委員	おむつは肌触りなど子どもによって合うものがあるので、自分で持参した方が良いという意見もある。
委員	民間保育園で希望者のみに導入しているが、楽になる部分もあれば面倒な部分もあり、トータルでの業務負担は大きくは変わらないと感じている。
事務局	5 その他
事務局	子育てガイドブックについて、今後のスケジュールについて説明。
事務局	質問・意見等はあるか。
委員	小学生など少し大きな子どもたちが、天候に関わらずダイナミックに体を動かせる屋内・屋外の遊び場（ネットやアスレチック等）を市内に整備してほしい。
事務局	6 閉会 以上で、第42回那須塩原市子ども・子育て会議を閉会する。 以上